

BELLUNA

Business Report 2012 *ベルーナ*

第36期 株主通信

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



▲ポケット付ボーダーニットチュニック

人気のボーダー柄を効かせた、ゆったりしたシルエットのドルマンスリーブチュニックです。シャツやブルオーバーとのレイヤードが楽しめます。

◀ダブルガーゼ素材配色オーバーブラウス

柔らかく通気性のよいダブルガーゼ素材で、優しい着心地の商品です。ほんのり透ける裏側の配色チェック柄と胸元のレースがポイントです。

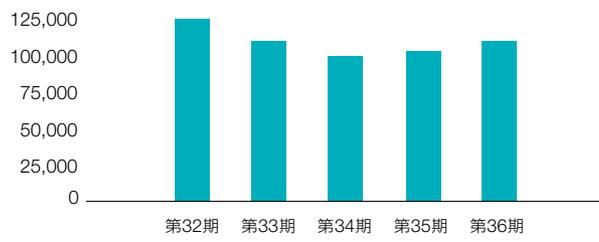
連結業績の推移

(単位：百万円)

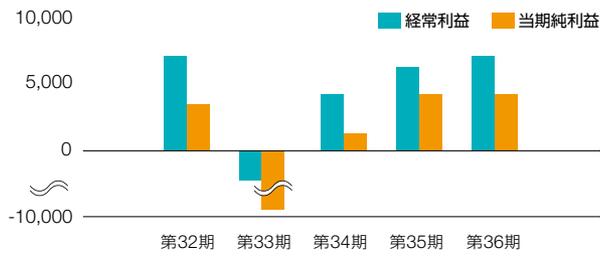
| | 第32期 (平成20年3月期) | 第33期 (平成21年3月期) | 第34期 (平成22年3月期) | 第35期 (平成23年3月期) | 第36期 (平成24年3月期) |
|-------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 売上高 | 125,173 | 109,912 | 100,101 | 103,460 | 110,300 |
| 経常利益(△は損失) | 7,151 | △2,239 | 4,267 | 6,364 | 7,151 |
| 当期純利益(△は損失) | 3,435 | △8,763 | 1,276 | 4,389 | 4,294 |
| 1株当たり当期純利益(△は損失)(円) | 66.14 | △173.72 | 25.47 | 87.57 | 86.53 |
| 総資産 | 160,707 | 133,868 | 119,703 | 110,595 | 99,174 |
| 純資産 | 64,327 | 53,808 | 54,217 | 57,465 | 60,805 |
| 総資産利益率(ROA)(%) ^{*1} | 6.8 | 1.0 | 3.6 | 6.0 | 7.2 |
| 自己資本利益率(ROE)(%) ^{*2} | 5.3 | △14.9 | 2.4 | 7.9 | 7.3 |

*1 総資産利益率 = (営業利益 + 受取利息及び配当金) / 期首・期末総資産平均 *2 自己資本利益率 = 当期純利益 / 期首・期末自己資本平均

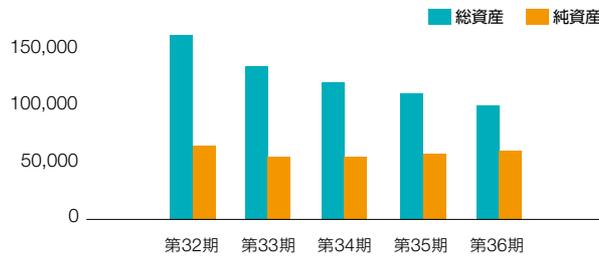
売上高 (百万円)



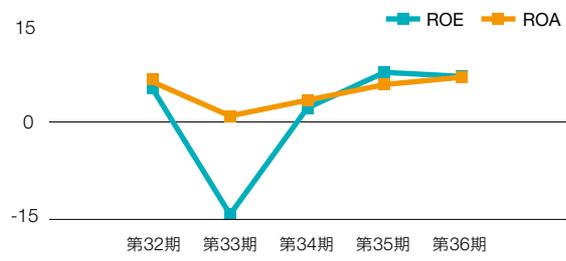
経常利益および当期純利益 (百万円)



総資産および純資産 (百万円)



ROEおよびROA (%)



先行きの不透明感による消費者心理の冷え込みが予想されますが、引き続き短期経営計画の達成を目指します。



当期の概況

当期の連結ベースの売上高は、前期比6.6%増の1,103億円となりました。利益面では、増収効果に加え売上対販売管理費率の改善により、営業利益は同10.0%増の74.1億円となりました。経常利益は71.5億円となり、当期純利益は同2.2%減の42.9億円となりました。

財政状態については、社債の償還により現金及び預金が減少したことなどから、総資産は前期末比114.2億円減少の991.7億円となりました。また借入金の返済と社債の償還により負債は同147.6億円減少の383.7億円となる一方で、純資産は同33.4億円増の608.1億円となりました。

当社を取り巻く環境

当期の国内経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災により大きな影響を受けましたが、期後半からは持ち直し傾向が見られるようになりました。しかしながら、欧州の債務問題や原油価格の高止まりなど、景気の先行きには不透明感が続いています。

通信販売業界は拡大が続いておりますが、競争が激化しており、業績の二極化がより一層進んでいます。一方で、新規参入企業も増加しており、通販代行（インフラ受託）のビジネスチャンスの拡大につながっています。全体としては、スマートフォンの普及を追い風に、今後も成長が加速する業界であると言えます。

このような環境下で、当社は短期経営計画の基本方

株主・投資家の皆様へ

針に則り、①データベース関連事業の強化、②2次活用事業の新規立ち上げおよび強化、③財務健全性の強化、④コンプライアンス・ガバナンス体制の維持・強化、⑤安定した株主還元に取り組んでいます。

短期経営計画の進捗状況

①データベース関連事業の強化では、総合通販事業、専門通販事業、ソリューション事業といった「データベース関連事業」が順調に売上を拡大しました。3事業の売上高シェアが91.3%となり、中核事業での安定した収益基盤が確立されつつあります。主力の総合通販事業では、Eコマースと若年層向けの取り組みが奏功し、売上高が前期比7.7%増の743.4億円とな

りました。

②2次活用事業の新規立ち上げおよび強化に向けて、卸売事業の強化、アジア展開に加え、店舗事業のテスト展開にも取り組んでいます。アジア展開では、国内通販売上高No.1であるワイン事業の強みを活かし、中国で卸売事業を展開しています。新たな事業の柱となるよう、引き続き各事業の育成に注力していきます。

③財務健全性の強化については、有利子負債を大幅に圧縮した結果、ネットキャッシュがプラスに転じました。一方、純資産の積み上げで自己資本比率が61.3%となっており、財務体質が格段に強化されました。

④コンプライアンス・ガバナンス体制の維持・強化については後述(P13)します。

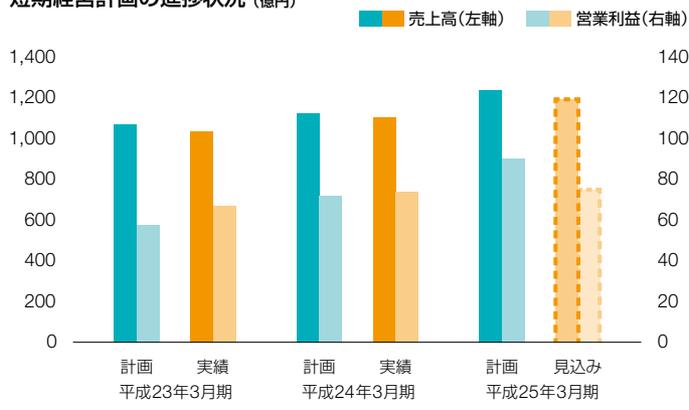
短期経営計画

基本方針

- ① データベース関連事業*の強化
- ② 2次活用事業の新規立ち上げおよび強化
- ③ 財務健全性の強化
- ④ コンプライアンス・ガバナンス体制の維持・強化
- ⑤ 安定した株主還元

*総合通販事業、専門通販事業、ソリューション事業がデータベース関連事業に該当します。

短期経営計画の進捗状況 (億円)



⑤安定した株主還元では、当期に1,156千株の自己株式を取得しましたが、次期についても400千株を上限として自己株式を取得してまいります。配当につきましては、毎期の業績の状況および中期的な成長のための戦略的投資を勘案しつつ、引き続き安定した配当を行う予定です。

今後の見通し

当社は、平成25年3月期に売上高1,235億円、営業利益90億円を目標とする短期経営計画を掲げていますが、当初計画時にはなかったイメージ広告の開始などコストアップ要因もあり、次期は増収増益となるものの短期経営計画を下回る見込みとなっております。

しかしながら、短期経営計画の達成を目指し、最大限努力してまいります。

当社は創業以来の「顧客志向・顧客密着」という方針に則り、お客様の衣食住遊を豊かにする商品・サービスを提供し続け、多くのお客様に支持される企業を目指してまいります。

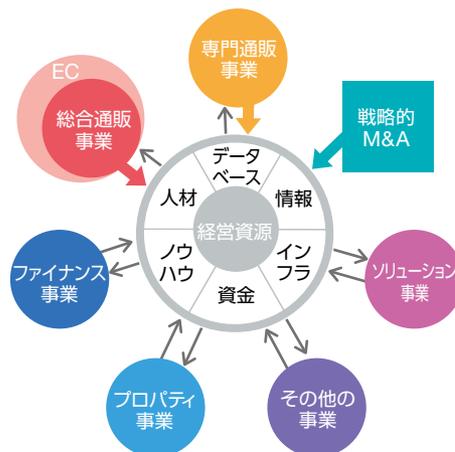
今後とも、当社および各事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 安野 清

ビジネスモデル

ベルーナは、総合通販事業で培った全国1,300万人以上の顧客データベースやコンタクトセンターおよび物流センターなどの通販インフラといった経営資源を保有しています。この強みを最大限に活かし、成長性と収益性が見込まれる専門通販、受託などの事業を展開してきました。今後も顧客志向・顧客密着を合言葉に、経営資源の有効活用によって様々なニーズに応えたサービスを展開する「通販総合商社」を熟成させてまいります。



お客様とのコンタクトポイント拡大を進めるとともに、

当社は、短期経営計画のもとデータベース関連事業の強化に取り組んでいます。アクティブ会員数増に向けた施策の奏功、Eコマースの強化による媒体費比率の低減など、売上拡大と媒体効率の改善が同時に進む良い循環が生まれています。

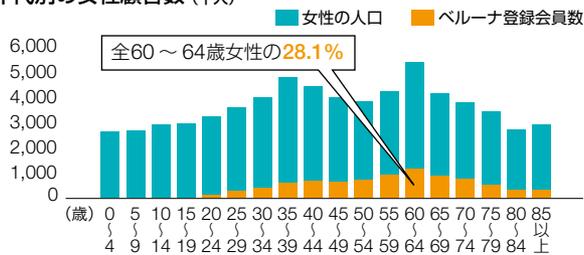
この好循環を加速させるため、当社の強みであるミセス層との接点拡大に注力しています。折込チラシやカタログだけでなく、インターネットや試験的に運営している直営店舗など、お客様との接点を増やすことで親近感を高めるとともに、各チャネルの相乗効果でリピート率向上を図ります。

更に、ミセス層へのアプローチだけでなく、利用者が急増しているスマートフォン向けのショッピングサイトを構築するなど、若年層の新規顧客獲得にも力を入れています。新規顧客の獲得とリピート率の向上で、総合通販事業の更なる拡大に努めていきます。

コンタクトポイントイメージ図



年代別の女性顧客数 (千人)



出所：総務省統計局データを元にベルーナにて作成

新規顧客獲得とリピート率の向上に取り組んでいきます。

外出先



スマートフォン・タブレット



店舗

スマートフォン対応への取り組み

スマートフォンに対応したショッピングサイト、5サイトを4月2日にオープンしました。若年層のお客様だけでなく、スマートフォン初心者や40代～60代のミセス層のお客様でも使いやすいよう、アイコンを大きめに設定したり、表示をスムーズにするなど、使い勝手にこだわったスマートフォンサイトとなっています。

これにより、お客様の利便性を向上させるとともに、更なるECチャネルの強化を図ってまいります。



スマートフォン向けサイト

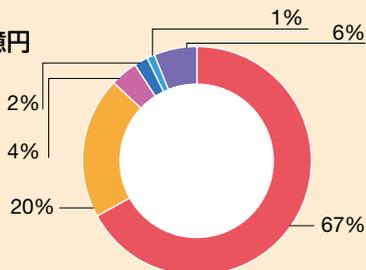
対象サイト

- ベルーナ: belluna.jp
- RyuRyu(リュリュ): ryuryu.jp
- インテリア: belluna.jp/interior
- オーゾオ: ozio.jp
- Goship! WORLD (ゴシップワールド): goship.jp

連結業績の概況

連結売上高

1,103億円



総合通販事業

カタログやインターネットを主な媒体として、アパレル、生活雑貨、インテリア用品など、様々な商品を扱う通信販売事業

専門通販事業

グルメ・化粧品・健康食品・看護師用品などの専門分野に特化した通信販売事業

ソリューション事業

封入・同梱サービスや通販代行サービスなど当社のデータベースやインフラを活用した受託事業

ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を主な対象としたB to Cファイナンス事業、および事業会社向けのB to Bファイナンス事業、韓国でのファイナンス事業

プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸、および再生・開発を手掛ける不動産事業

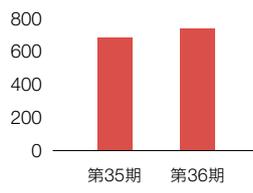
その他の事業

和装関連の販売事業および商品企画のノウハウを活用した卸売事業

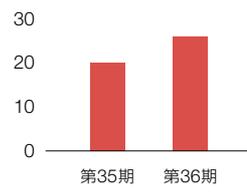
総合通販事業

「家庭用品」や「アパレル」などが順調に売上を伸ばした結果、売上高は743.4億円（前期比7.7%増）となりました。セグメント利益は売上原価率が上がる一方で経費削減効果もあり、27.5億円（同35.6%増）となりました。

売上高（億円）



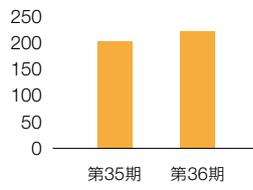
セグメント利益（億円）



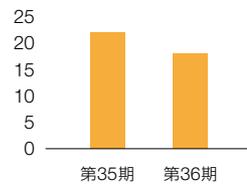
専門通販事業

テレビCMや雑誌広告など、成長性を睨んだ積極的な媒体展開を行った結果、売上高は223.3億円（同10.0%増）、セグメント利益は18.2億円（同16.7%減）となりました。

売上高（億円）



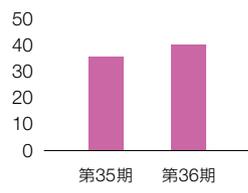
セグメント利益（億円）



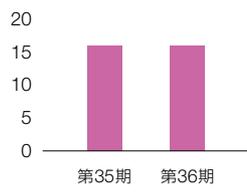
ソリューション事業

総合通販事業の伸長に合わせて、封入・同梱サービスが順調に拡大、また利益率の低い通販代行サービスがそれ以上に増加した結果、売上高は40.1億円（同12.6%増）、セグメント利益は15.7億円（同0.2%増）となりました。

売上高 (億円)



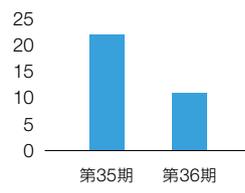
セグメント利益 (億円)



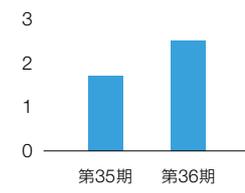
プロパティ事業

前期に計上した販売用不動産の売却が当期は実現しなかったため、売上高は11.1億円（同48.9%減）となりました。一方でセグメント利益は、販売用不動産の評価損が減少したこと等により2.5億円（同49.3%増）となりました。

売上高 (億円)



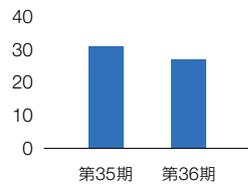
セグメント利益 (億円)



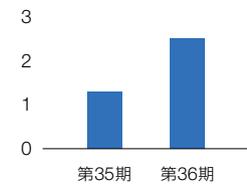
ファイナンス事業

営業貸付金残高が減少した結果、売上高は27.4億円（同12.6%減）となりました。一方でセグメント利益は、貸倒や利息返還損失引当金の繰入額が減少したこと等により2.5億円（同88.8%増）となりました。

売上高 (億円)



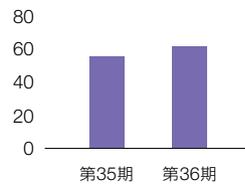
セグメント利益 (億円)



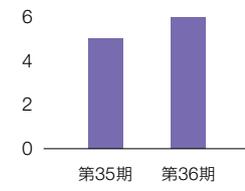
その他の事業

卸売事業のフレンドリー(株)、和装関連の店舗を展開する(株)BANKAN、(株)わものやの3社とも順調に売上を伸ばし、売上高は61.8億円（同10.5%増）となりました。セグメント利益は、経費削減効果もあり5.9億円（同28.0%増）となりました。

売上高 (億円)



セグメント利益 (億円)



トピックス

— テレビCM展開—専門通販事業

化粧品を展開するオージオは、媒体およびチャンネル拡大策の一つとしてテレビCMを放送しています。テレビCMと連動した新聞折込チラシを展開することで、相乗効果が生まれ、新規顧客の獲得が進んでいます。今後も継続して実施することで、新規顧客獲得だけでなく、定期購入の促進にもつなげてまいります。



— 通販事業者向けのセミナーを開催—ソリューション事業

ソリューション事業では「ベルーナBiz」というブランドを立ち上げ、法人向け営業の強化を図っています。「ベルーナBiz」では、通販事業者を中心とする法人企業向けにセミナーを開催しています。通販業界は依然として新規参入企業が多く、課題を抱える企業も少なくありません。実際に当社が経験した課題解決の事例をご紹介します、当社のインフラや通販ノウハウの強みを知ってもらうことで、新たなクライアント企業の開拓につながっています。



— ミセス向けの実店舗オープン—総合通販事業

ミセス向けのアパレル店舗「BELLUNA（ベルーナ）」を平成23年11月にオープンしました。低価格帯を中心に、ミセス向け通販カタログ「BELLUNA」の人気商品を取りそろえています。現在は、試験的に3店舗で展開しており、平成25年3月期には10店舗に拡大する予定です。カタログ、インターネット、店舗など、様々なチャネルを通してお客様との接点を増やしてまいります。



カタログラインアップ

当社では、マインド年齢や趣味・嗜好に合わせ、総合型・専門型のカタログを実に年間30種類以上も発行しています。またインターネット・スマートフォンにも対応しています。



ベルーナ

ミセス向け
総合ファッション
カタログ

1



ルアール

30代向け
レディス
総合ファッション
カタログ

1



リュリュ

20代向け
レディス
総合ファッション
カタログ

1



ルフラン

ミセス向け
総合ファッション・
雑貨カタログ

1



素敵生活

総合生活雑貨
カタログ

1



いきいき家族

食の専門カタログ

2



マイワインクラブ

ワイン専門カタログ

2



リフレ

サプリメント専門
カタログ

3



オージオ

化粧品専門カタログ

4



ベルーナネットショップ

belluna.jp



スマートフォンサイト

belluna.jp

ryuryu.jp

belluna.jp/interior

ozio.jp

goship.jp

【お問合せ】※カタログをご希望の方は、カタログ横の番号1～4に合わせて右記へお問合せ下さい。1 0120-85-7890 2 0120-307-963
※お届けするカタログは最新号です。お時間がかかる場合がございますので予めご了承下さい。3 0120-22-9299 4 0120-0210-10

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

| | 第36期 平成24年3月31日現在 | 第35期 平成23年3月31日現在 |
|--------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 58,292 | 68,954 |
| 現金及び預金 | 12,959 | 20,688 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,493 | 10,937 |
| 営業貸付金 | 14,273 | 15,793 |
| 商品及び製品 | 9,848 | 9,215 |
| 販売用・仕掛販売用不動産 | 3,309 | 5,201 |
| その他 | 7,655 | 8,469 |
| 貸倒引当金 | △1,246 | △1,351 |
| 固定資産 | 40,881 | 41,640 |
| 有形固定資産 | 28,587 | 27,310 |
| 建物及び構築物 | 11,258 | 11,154 |
| 土地 | 16,429 | 15,125 |
| その他 | 900 | 1,030 |
| 無形固定資産 | 3,998 | 5,202 |
| 投資その他の資産 | 8,295 | 9,126 |
| 投資有価証券 | 2,379 | 1,930 |
| 長期貸付金 | 1,880 | 1,009 |
| 破産更生債権等 | 3,692 | 5,877 |
| その他 | 2,654 | 3,609 |
| 貸倒引当金 | △2,312 | △3,300 |
| 資産合計 | 99,174 | 110,595 |

【資産合計】

総資産は前期末に比べ11,420百万円減少しました。これは、社債の償還による現金及び預金の減少、および有価証券の減少に加え、破産更正債権等が削減されたことによるものです。

(単位：百万円未満切捨)

| | 第36期 平成24年3月31日現在 | 第35期 平成23年3月31日現在 |
|------------------|----------------------|----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 27,718 | 39,534 |
| 支払手形及び買掛金 | 14,852 | 13,197 |
| 短期借入金 | 2,560 | 4,893 |
| 未払費用 | 6,319 | 5,786 |
| 1年内償還予定の新株予約権付社債 | — | 11,000 |
| その他 | 3,986 | 4,657 |
| 固定負債 | 10,650 | 13,594 |
| 長期借入金 | 6,983 | 8,494 |
| 利息返還損失引当金 | 1,610 | 2,042 |
| その他 | 2,056 | 3,058 |
| 負債合計 | 38,369 | 53,129 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 61,915 | 59,029 |
| 資本金 | 10,607 | 10,607 |
| 資本剰余金 | 11,003 | 11,003 |
| 利益剰余金 | 49,761 | 46,215 |
| 自己株式 | △9,456 | △8,796 |
| その他の包括利益累計額 | △1,110 | △1,563 |
| 少数株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 60,805 | 57,465 |
| 負債純資産合計 | 99,174 | 110,595 |

【負債合計】

負債は前期末に比べ14,759百万円減少しましたが、主に借入金を返済したことと、社債の償還を行ったことによるものです。

【純資産合計】

当期純利益の計上で利益剰余金が増加し、純資産は前期末に比べ3,339百万円増加し、60,805百万円となりました。その結果、自己資本比率は9.3ポイント増加し61.3%となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

| | 第36期 自平成23年4月 至平成24年3月 | 第35期 自平成22年4月 至平成23年3月 |
|--------------|------------------------------|------------------------------|
| 売上高 | 110,300 | 103,460 |
| 売上総利益 | 61,621 | 57,954 |
| 販売費及び一般管理費 | 54,215 | 51,221 |
| 営業利益 | 7,406 | 6,733 |
| 営業外収益 | 864 | 752 |
| 営業外費用 | 1,119 | 1,121 |
| 経常利益 | 7,151 | 6,364 |
| 特別利益 | — | 390 |
| 特別損失 | 365 | 1,382 |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,785 | 5,372 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,077 | 1,607 |
| 法人税等調整額 | 1,413 | △624 |
| 少数株主損益 | 0 | △0 |
| 当期純利益 | 4,294 | 4,389 |

【売上高】

売上高は110,300百万円(前期比6.6%増)となりました。総合通販事業や専門通販事業、ソリューション事業といったデータベース関連事業を中心に順調に売上を伸ばしています。

【営業利益】

増収効果に加え、売上対販売管理費比率の改善により、営業利益は7,406百万円(同10.0%増)となりました。

【当期純利益】

特別損失として固定資産減損損失を126百万円計上したこと等により、4,294百万円(同2.2%減)となりました。

連結包括利益計算書

(単位：百万円未満切捨)

| | 第36期 自平成23年4月 至平成24年3月 | 第35期 自平成22年4月 至平成23年3月 |
|----------------|------------------------------|------------------------------|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 4,294 | 4,389 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 157 | △66 |
| 為替換算調整勘定 | 296 | △322 |
| その他の包括利益合計 | 453 | △389 |
| 包括利益 | 4,747 | 4,000 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

| | 第36期 自平成23年4月 至平成24年3月 | 第35期 自平成22年4月 至平成23年3月 |
|------------------|------------------------------|------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,269 | 14,159 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 299 | △2,615 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △17,668 | △15,037 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △22 | △65 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △6,121 | △3,559 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 11,529 | 17,607 |

【現金及び現金同等物の増減額】

税金等調整前当期純利益に加え営業貸付金の回収などにより、営業活動の結果得られたキャッシュは11,269百万円となりました。また、社債償還や長短借入金の返済、自己株式の取得により、財務活動の結果使用されたキャッシュは17,668百万円となりました。これらを主な要因として、当期末のキャッシュは前期末比6,121百万円の減少となりました。

コンプライアンス・ガバナンス体制の維持・強化

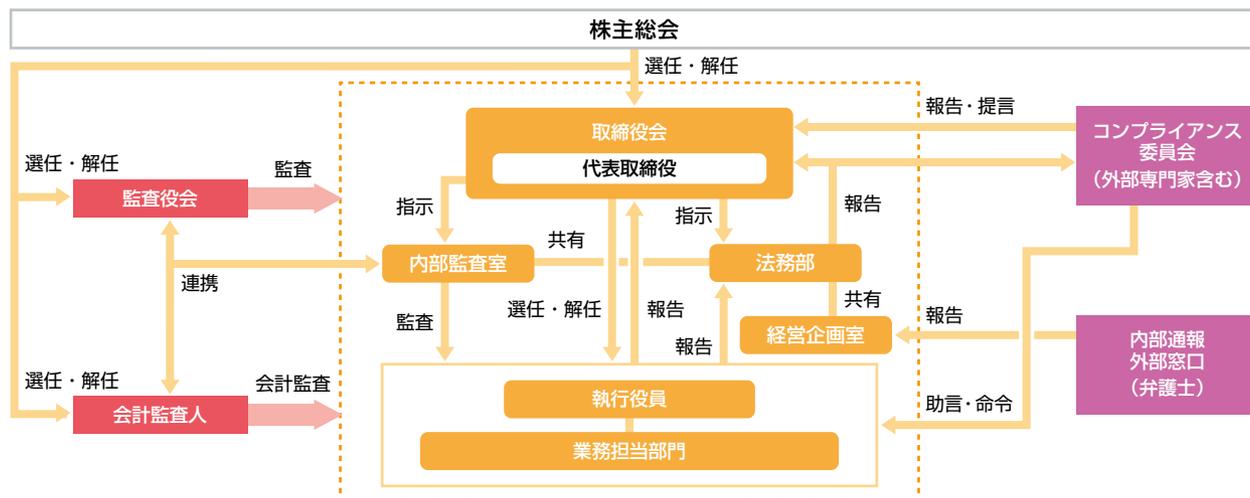
当社は、企業価値向上のためにコンプライアンス・ガバナンス体制(コンプライアンスを基軸としたコーポレート・ガバナンス体制)の維持・強化を重要な経営課題の一つと考えています。当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、取締役会が決定した方針のもと、執行役員が担当業務を執行する権限と責任を持つことで、経営の迅速化を図るとともに、取締役・執行役員以下、全従業員が公正性および透明性向上に努め、コンプライアンス重視の健全で効率性の高い経営体制を確立することにあります。

当社では、平成23年4月より執行役員体制を導入し、経営の意思決定および執行の迅速化と責任の明確化を図りました。また、平成20年9月に設置されたコ

ンプライアンス委員会では、社外の有識者が参加し、委員会に権限を付与することによって第三者の視座が経営判断に反映される体制を構築しています。更に、代表取締役直轄の内部監査室は、監査役と連携し、業務全般の監視機能を発揮しています。また、内部監査室と法務部、経営企画室の三部門が情報を共有し、協力することで、問題発見の早期化、問題解決の迅速化に努めています。

従業員への教育・啓蒙については、毎年7月に『コンプライアンスの日』、12月に『商品安全の日』を設け、法令順守・品質管理の意識啓蒙を図るとともに、各事業部で実務に即した研修を実施することで、意識・知識の両面での教育を図っています。

ガバナンス体制図



株式の状況 (平成24年3月31日現在)

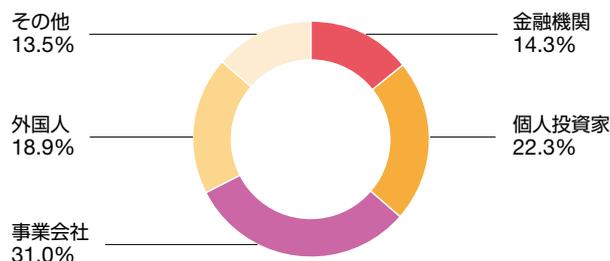
発行可能株式総数 130,000,000株
 発行済株式の総数 56,592,274株
 株主数(除く自己名義) 6,490名

大株主

| 大株主(上位10名) | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 有限会社日本リポワール | 9,490 | 19.3 |
| 株式会社フレンドステージ | 7,264 | 14.8 |
| 安野 清 | 5,467 | 11.1 |
| ピーピーエイチフォーフィデリティ ティーロープライスストック ファンド | 5,100 | 10.4 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 | 3,641 | 7.4 |
| 安野 公 | 1,662 | 3.3 |
| 株式会社三井住友銀行 | 1,123 | 2.2 |
| 野村信託銀行株式会社 | 1,111 | 2.2 |
| みずほ信託銀行株式会社 | 773 | 1.5 |
| CBNY DFA ITHL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO 常任代理人 シティバンク銀行株式会社 | 593 | 1.2 |

注)信託銀行各行の持株数には、信託業務に係る株式が含まれております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成24年3月31日現在)

商号 株式会社ベルーナ
 資本金 106億7百万円
 代表者 安野 清(代表取締役社長)
 創業 昭和43年9月
 設立 昭和52年6月
 従業員数 1,020名(連結)
 事業内容 カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通販総合商社

ホームページ <http://www.belluna.co.jp/>

主な事業所

本社 (埼玉県上尾市)
 本館 (埼玉県上尾市)
 東京オフィス (東京都新宿区)
 アネックスビル・第2アネックスビル (埼玉県上尾市)
 北関東オーダーレセプションセンター (埼玉県鴻巣市)
 川越オーダーレセプションセンター (埼玉県川越市)
 領家丸山流通システムセンター (埼玉県上尾市)
 宇都宮流通システムセンター (栃木県鹿沼市)
 領家山下クリニックセンター (埼玉県上尾市)
 領家山下流通システムセンター (埼玉県上尾市)

役員(平成24年6月29日現在)

| | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 安野 清 | 取締役 | 生川 雅一 |
| 取締役 | 安野雄一朗 | 取締役 | 下川 英士 |
| 取締役 | 野村 育孝 | 常勤監査役 | 河原塚隆史 |
| 取締役 | 穴戸 順子 | 監査役 | 中村 勲 |
| 取締役 | 島野 武夫 | 監査役 | 渡部 行光 |

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月下旬
- 基準日(定時株主総会関係) 3月31日
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公告の方法 電子公告により行う
<http://www.belluna.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号
TEL : 048-771-7753(代表)
(ホームページ) <http://www.belluna.co.jp/>



本誌は、森林環境に配慮したFSC
認証紙に植物インクを使用して
印刷しています。